

日本学術会議 電気電子工学委員会
URSI 分科会 医用生体電磁気学小委員会 (K 小委員会)
第 25 期 第 1 回

議事録

日時：2021 年 4 月 22 日 (木)、13:00-14:05

場所：オンライン (Webex、主催会場：情報通信研究機構電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室)

出席者：

第 25 期 URSI-K 国内小委員会委員：

渡辺聡一 (NICT：委員長)、中園聡 (電中研：副委員長)、齊藤一幸 (千葉大：幹事)、関野正樹 (東大：幹事)、長岡智明 (NICT：副幹事)、吉江幸子 (鉄道総研：副幹事)、幾代美和 (NICT：幹事補佐)、齋藤淳史 (電中研：幹事補佐)、河野隆二 (横国大)、伊藤公一 (千葉大)、池畑政輝 (鉄道総研)、上野照剛 (東大)、牛山明 (科学院)、王建青 (名工大)、上村佳嗣 (宇都宮大)、黒田輝 (東海大)、佐々木謙介 (NICT)、神保泰彦 (東大)、多氣昌生 (都立大)、田畑仁 (東大)、平田晃正 (名工大)、東山潤司 (NTT ドコモ)、藤原修 (電通大)、増田宏 (久留米大)、松井康人 (京大)、松木英敏 (東北大)、山崎健一 (電中研)、山口さち子 (安衛研)

医用生体電磁気学研究会会員：

大久保千代次 (JEIC)、日景隆 (北大)、大西輝夫 (NICT)、チャカロタイ・ジエト・ウエイソフ (NICT)

議題：

1. 小委員会役員の選出
2. 委員紹介
3. 議事要旨の委員長一任について
4. 活動方針
5. 第 25 期 URSI 分科会／2021 年度 URSI 国内委員会報告
6. URSI GASS2021 および URSI 主要会議について
7. BioEM 2022 の開催準備状況
8. 関連学会・会合に関する報告ほか
9. その他

配布資料：

25-1-1：執行部説明

25-1-2：活動方針

25-1-3 : URSI 分科会活動報告

25-1-4 : URSI GASS2021 および URSI 主要会議について

議事内容 :

■ 議題 1 : 小委員会役員の選出

・王委員（第 24 期委員長）より、第 25 期 URSI 分科会 K 小委員会委員長候補の選挙結果について報告された。2020 年 8 月 24 日に選挙管理委員会を設置、2020 年 8 月 24～9 月 9 日を投票期間として選挙を行った結果、医用生体電磁気学研究会 79 名のうち 38 名（有効投票数 48.1%）が投票、うち 38 名から渡辺聡一候補に信任投票がなされ第 25 期委員長として選任された。

・渡辺委員長から就任の挨拶がなされた。約 20 年の間 URSI-K 小委員会の活動に関与してきた。この度委員長の立場から研究活動の更なる発展に貢献していきたいのでご協力をお願いしたい。

■ 議題 2 : 委員紹介

・各委員および研究会会員より、自己紹介がなされた。

■ 議題 3 : 議事要旨の委員長一任について

・渡辺委員長から、本日の会議は医用生体電磁気学研究会のビジネスミーティングおよび一部は URSI-K 小委員会の会議でもある。学術会議の規定により、開催後、議事要旨を提出することになっているため、議事要旨について委員長に一任することでご了承いただきたいとの説明がなされた。

→委員長に一任することでご了承された。

■ 議題 4 : 活動方針

渡辺委員長から下記について説明がなされた。

・医用生体電気学を取り巻く状況と活動方針 : URSI の国際活動の対応が主であり、今年度、伊藤先生が URSI-K の chair に就任するため、日本からの活動の活性化が必要である。2023 年に URSI 総会の札幌開催、2022 年に BioEM の名古屋で開催、があり、BEMS と EBEA が合併となると、名古屋は合併初の大きな大会となる予定である。

・活動活性化への取り組みとして、国内関連学会との連携、新たな研究課題の議論、若手研究者育成を考えている。

・第 25 期の URSI-K 国内小委員会の設置趣意書に関する説明がなされた。学術会議からは、4 月 21 日の日付で辞令が発行される予定である。

・研究会幹事団は、渡辺会長、中園副会長、齊藤幹事（千葉大）、関野幹事、長岡幹事、

日影幹事、吉江幹事、齋藤幹事補佐（電中研）、幾代幹事補佐の体制とする。

・学術会議の URSI-K 国内小委員会については、規約により幹事は 2 名のため、齋藤幹事（千葉大）、関野幹事とし、その他は小委員会独自の役職として、副幹事、幹事補佐として活動を行う。また、日景先生については、後日に小委員会委員に就任するタイミングで小委員会の副幹事に就任いただく。

■ 議題 5：第 25 期 URSI 分科会／2021 年度 URSI 国内委員会報告

渡辺委員長から、第 25 期の活動状況について説明がなされた。

・2020 年 10 月～2023 年 9 月末までが第 25 期として発足している。2020 年 10 月 29 日に URSI 分科会設置が承認され、2021 年 3 月 25 日に URSI 分科会小委員会の設置、委員名簿が承認された。2021 年 4 月 21 日に幹事会が開催され、この日が小委員会委員の辞令発令日となる。

・URSI 分科会は、八木谷委員長、小林副委員長を筆頭として構成される。URSI 日本国内委員会についても同様である。

■ 議題 6：URSI GASS 2021 および URSI 主要会議について

伊藤委員および佐々木委員から URSI 総会の状況について説明がなされた。

・コロナの影響もあり、2021 年 8 月に web、対面のハイブリッドで開催されることとなった。オンタイムの他、オンデマンドでの発表も並行する予定。

・現在、Comission K の採択論文数は 136 件となっている。

・これまで会期中にビジネスミーティングを開催していたが、Commission Coordination Activities という位置づけで行うこととなった。

・Commitition K の Vice Chair と ECR の次期選挙について、案内が来ている。2021 年 6 月 1 日が投票期限、最終投票は総会中の Commission Coordination Activities にて行う。

・関連学会の予定としては、AT-RASC はカナリア諸島にて 2022 年 5 月 30～6 月 4 日、AP-RASC はシドニーにて、2022 年 8 月 20～25 日、URSI GASS は札幌にて 2023 年 8 月 19～8 月 26 日がある。

→多気委員より、投票第 1 回、第 2 回について、従来と変更があるかとの質問がなされた。

→伊藤委員より、従来と変更はなく、第 1 回での投票内容の変更は第 2 回で可能であり、第 1 回で投票できなかった場合は第 2 回で投票できるとの説明がなされた。

■ 議題 7：BioEM 2022 の開催準備状況

・王委員より、BioEM 2022 の準備状況について説明がなされた。2022 年 6 月 19～24 日、愛知県産業労働センターにて行う。現地開催を想定して準備を進めているが、状況

に応じてリモートと現地開催のハイブリッドの可能性も検討している。ホームページも公開済みである。参加者 200～300 名位を想定して計画している。225 名の参加があれば赤字にはならないが、Web とのハイブリッド開催の場合は、大幅な変更を行う必要がある。

- ・齊藤幹事より、BEMS EBEA の合併に伴い Board Members の選挙があるため、日本からの候補者をどうするかという議論がある。引き続き中園副委員長に立候補していただく方向でよいかとの提案がなされた。

→中園副委員長が立候補する方向で了承された。

→中園副委員長より、BioEM 2022 開催に貢献していきたい、引き続きご協力をお願いしたいとのコメントがなされた。

■ 議題 8：関連学会・会合に関する報告ほか

- ・王委員より、BioEM 2021 について紹介がなされた。Web とのハイブリッド、ベルギーにて開催予定。2021 年 4 月 30 日がアブストラクトの締切だが、延長される予定。アブストラクト投稿期間のため、投稿いただきたい。

■ 議題 9：その他

- ・特になし。

以上